

一般質問通告書

宗像市議会議員 様

宗像市議会議員（2）番 石松 修

以下のとおり通告します。

発言順	13	受領日時	令和6年8月19日 16時33分
項目1	文化芸術のまちづくり、コンテンツ産業推進の取組を		
テロップ	文化芸術のまちづくりの推進を		
<p>平成23年度からスタートした「宗像市文化芸術のまちづくり10年ビジョン」は前期、後期、後期延長（リビジョン）と取り組まれてきたが、令和7年度から「新振興ビジョン」の策定が予定されている。後期の展望の記述中には「このビジョンが終了した時の宗像市は、子どもの頃から文化芸術に親しみ、若手の芸術家が活発に活動し、様々な文化芸術が多様な分野と結びつき、身近に文化芸術を鑑賞・体験できるようになっていることが展望されます。さらに、海外の関係地域、国や県、近隣の自治体などとの交流・連携・協力も求められます。宗像ユリックスを拠点として、郷土文化学習交流館（海の道むなかた館）やコミュニティ・センターなど、さらなる充実と活用がみられ、そして、市民による文化芸術活動が活発に行われ、文化芸術の持つ力がコミュニティ活動など様々な分野に活用されています。文化芸術は、「人と人」「人と地域」を結ぶ絆となる大きな力を持っており、その力はこの地宗像においても例外なく発揮されることでしょう。」とある。</p> <p>さらに、令和6年6月21日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2024」「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024年改訂版」でコンテンツ産業に関する取組が記述されており、そこには「日本発のコンテンツの海外売上上げは、我が国の鉄鋼産業、半導体産業の輸出額に匹敵する規模である。また、キャラクターの世界ランキング上位の半数は、日本のものになっている。アニメ・音楽・放送番組・映画・ゲーム・漫画といったコンテンツは、我が国の誇るべき財産」であることから、「コンテンツ産業活性化戦略」を策定してこの戦略を推進するとある。</p> <p>これらを踏まえ、市は文化芸術のまちづくりに加え、コンテンツ産業の推進に取り組む必要があると考え、以下質問する。</p> <ol style="list-style-type: none">（1）「宗像市文化芸術のまちづくり10年ビジョン」の現状と課題、今後の対応は。（2）地方自治体としてコンテンツ産業の取組はどのようなことが考えられるか。（3）フィルムコミッションの取組は。（4）いわゆる「聖地巡礼」による地域活性化について市はどのように認識しているか。市ゆかりの漫画、小説などはどのようなものがあるか。（5）市立中学校文化活動の地域移行の現状と課題、今後の対応は。（6）市内の福岡教育大学（美術専攻・音楽専攻）や近隣の九州産業大学（芸術学部）など文化芸術における大学との連携の取組は。（7）宗像偉人マンガ「出光佐三」が出版されたが、宗像出身の画家、中村研一、中村琢二兄弟の功績を市はどのように評価し、市民に伝えているか。また、令和6年12月に福岡県立美術館で展覧会「中村研一と中村琢二」が開催されるが、これに関する市の対応は。			

※通告書の文字は明朝体11pt、概ね1枚を目安としてください。